

## 市場事業部門

外国為替・デリバティブ・債券・株式等の  
市場性商品を通じたソリューション提供をはじめ、  
バランスシートの流動性リスクや金利リスクを総合的に管理する  
ALM業務を行っています。

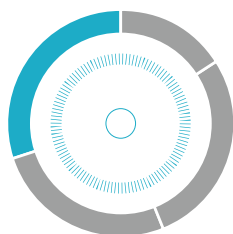
**市**場事業部門では、マーケットリスクのプロフェッショナルとして、自らのリスクテイクを深化させるとともに、お客さまに対して高い付加価値を持続的に提供していくことを目指しています。これを実現するために我々が最も重視していることは、世界中で起こるさまざまな事象を「3つのI」—Insight (洞察力)、Imagination (想像力)、Intelligence (情報力)によって深く分析し、これから起こる相場を読み解くこと、すなわち、世の中の本質を見抜く力です。

2020年度はコロナ禍に見舞われ、人の流れや物の動きとともにマーケット環境も大きく変化しました。このような中、我々のポートフォリオ運営では、世の中が危機対応モードであった局面から将来の景気回復を先取りしていく局面へと変遷する相場を捉え、株式と債券を機動的にリバランスして収益を計上しました。ま

た、安定した外貨調達により、お客さまを資金繰り面で支えるとともに、セールス&トレーディングでは、お客さまのニーズを把握し、最適なソリューションを提供してきました。

足元のマーケット環境は、世界中の政府や中央銀行が前例のない規模で経済を支え続けており、資産価格やインフレ等の見通しに対する不確実性が高まっている状況です。また、デジタル化の進展や社会的課題への関心の高まり等、お客さまのニーズの多様化も進んでいます。中期経営計画の2年目となる2021年度は、世の中の先行きを見極め、お客さまに選ばれるソリューションをいかに生み出していくか、我々の真価が問われています。引き続きマーケットへ真摯に向き合い、お客さまとSMBCグループの成長へ貢献することに一層こだわっていきます。

連結業務純益に占める割合 (2020年度)



4,135 億円 30%

	2020年度	前年比 <sup>*1</sup>
業務粗利益	4,607億円	+221億円
経費	829億円	+33億円
ベース経費	796億円	+19億円
業務純益	4,135億円	+220億円
ROCE <sup>*2</sup>	20.4%	+0.2%
リスクアセット	5.4兆円	+0.3兆円

\*1 金利・為替影響等調整後ベース \*2 含むバンキング勘定の金利リスク見合い

執行役専務  
市場事業部門長

小池 正道

重点戦略

1

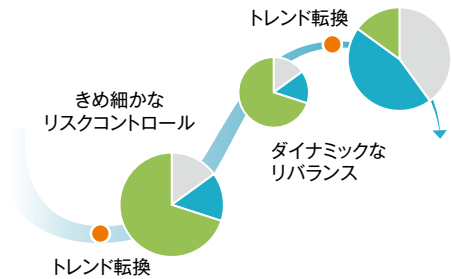
**市場環境の変化に応じた  
機動的なポートフォリオ運営**

我々の強みは、マーケットの変動をプロアクティブに察知し相場のトレンドを捉えることで、ダイナミックにポートフォリオを入れ替えて収益を極大化する力です。

事業部門の一人ひとりが日々起こるさまざまな事象を「3つのI」で情報収集・分析し、徹底的に議論を重ねる。そうして描いたシナリオをポジションとして表現し、その効果を検証する。こうした不断のサイクルによってのみ相場を読み解く力は養われます。

中期経営計画では、従来の先進国アセットを中心とした運用に加えて、投資プロダクトの多様化やデータを活用した投資手法等、新たな収益源開拓へのチャレンジを続けており、ポートフォリオ運営の高度化も推進しています。

**ポートフォリオ・リバランスのイメージ**

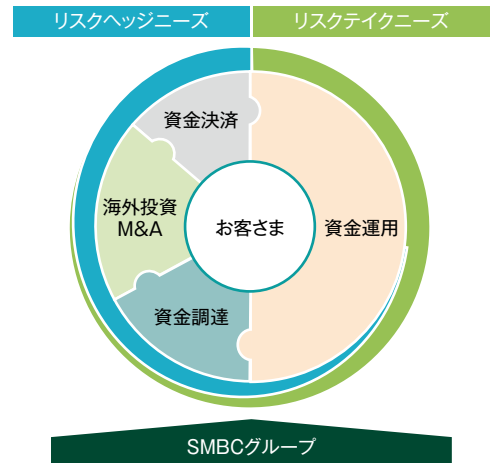


重点戦略

2

**市場性商品を通じた  
ソリューション提供の強化**

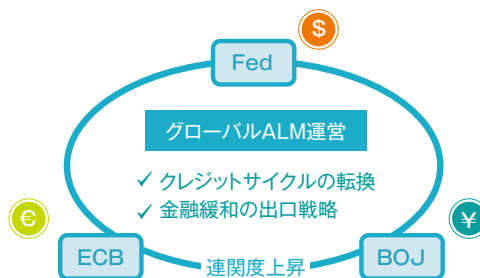
お客様のビジネスやバランスシートに起因するリスクヘッジニーズ、お客様が運用や投資を行う際のリスクテイクニーズにお応えすべく、商品ラインアップの拡充や国内外プロダクトセールス部隊の連携を加速しています。具体的には、お客様の抱えるリスクを「見える化」することで、それぞれの状況に合わせたテーラーメイド型のソリューション提供を引き続き推進しています。また、お客様のニーズに沿ってさまざまな商品を提供できるよう、グローバルな体制を整備・強化します。加えて、電子取引が普及する中、お客様にとって利便性の高い為替プラットフォームの高度化を目指しています。



### 頑健な外貨調達基盤の構築

貸出等を通じてお客さまのビジネスを持続的に支えるべく、外貨調達においては引き続き安定性確保とコスト抑制の両立を追求しています。具体的には、定期的な外貨建債券の発行に加え、カバードボンドの発行やクロスカレンシーレポ\*の取組等、調達手段の多様化や投資家層の拡大を図りながら、SMBCグループのバランスシート構造やマーケット環境に応じて戦略的に調達を行っています。また、円貨・外貨のALM部署を統合し、金融規制を含めたグローバルな金融市場の変化へプロアクティブに対応する体制を構築しており、長期的な視点に立ったバランスシートコントロールの実現を目指しています。

\* 国債等を担保とした外貨調達



- 資金繰り・担保繰りの効率化
- 環境を見極めた中長期調達戦略

### サステナビリティへの取組

調達した資金の使途を再生可能エネルギー等の環境に配慮したプロジェクトに限定した債券、いわゆるグリーンボンドを定期的に発行しています。

2015年10月に、本邦民間金融機関として初の米ドル建グリーンボンドを発行してから、2018年12月には、本邦民間企業初の個人のお客さま向け、2021年1月には米国における公募形式での発行を通じて、投資家層の拡大に努めています。これまで国内外で5回、約25億米ドルの資金を調達しており、発行に際しては、投資家に対して我々のサステナビリティへの取組を丁寧に説明し、相互理解に努めています。

SMBCグループは、国内外における太陽光発電・風力発電等の再生可能エネルギー事業等に対するプロジェクトファイナンスについて、確かな実績を有しています。今後も日本を代表するグリーンボンドの発行体として、市場のさらなる発展と、地球環境の維持・改善に、より一層貢献していきます。

